

ニューズレター雪氷北信越

No. 4 昭和63年12月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

1. 理事幹事合同会議報告／2. 石川地区講演会報告／3. 50周年記念写真展案内
4. 学習会予定・報告／5. 講習会案内／6. 『雪氷北信越』発行予定・原稿募集

報告

昭和63年度第3回理事・幹事合同会議

11月12日、国立防災センター長岡雪氷防災実験研究所にて標記会議が開催されました。まず中尾幹事より、創立50周年記念事業の講演会について、長岡会場175名、富山会場174名の参加があり、盛会裡に終了したことが報告されました。また中村支部長から、記念事業推進に当たって、関係各機関から寄せられた御協力に対し深く感謝する旨が述べられました。次に機関誌『雪氷北信越2号』の発行について審議され、早川幹事長を委員長とする編集委員会（阿部理事・遠藤（八）理事・村山理事・和泉幹事・川田幹事・小池幹事・杉森幹事・田村幹事・中尾幹事）の発足が承認されました。編集委員会では理事・幹事会での意見を参考にして、支部の目的にそった方針をもって2号及び3号の編集に当たることが確認されました。さらに、田村幹事から講習会開催の計画が提案され、別項のように開催されることになりました。なお講習会では受講者に対し認定証を発行することも提案されました。最後に、専門部会について審議され、梅村副支部長・阿部理事を中心として、試行的なものを組織することになりました。

講演会

第1回 石川地区講演会の報告

12月3日金沢市会館加賀において、石川地区講演会が行われた。金沢大学高瀬信忠教授（副支部長）から「石川県地方における融雪出水と水資源」について、積雪に洪水調節の優れた機能のあること、石川県最大河川の手取川が手に手を取りあい、助け合って渡らねば通れないほどの急流河川であることからなづけられ、平野部にまで大きな石がゴロゴロある石の川であることから石川と呼ばれるようになったことを話された。資源としての水や雪の恩恵を文明の発達、生命の維持に関係づけ、また地球の自然現

象や他の惑星と比較して含響の深い話をされた。講演の後、講師を囲んで質問や話題提供が和やかに行われた。
(対馬理事 記)

写真展

日本雪氷学会創立50周年記念事業
雪と氷の写真展

すでにご存じと思いますが、上記の写真展が北信越支部では、下記のように開催されますので、お誘い併せのうえ、ご来場下さい。一般公開、入場無料です。

(写真展支部委員長 梅村晃由)

記

1. 長岡会場：長岡商工会議所会館美術文化ホール

〒940 長岡市坂之上町2丁目1番1(電話:0258-32-4500)

J R 東日本長岡駅下車、大手通り大和百貨店裏

☆展示期間：昭和64年1月6日(金)から1月15日(日)まで

時間：午前10時から午後6時まで

後援：長岡市、長岡商工会議所

連絡先：長岡商工会議所 佐藤和雄

または、〒940-21 長岡市上富岡町 長岡技術科学大学 梅村晃由
(電話:0258-46-6000、内線7111)

または、〒945-13 柏崎市軽井川473 新潟産業大学 村山実
(電話:0257-24-6655)

2. 黒部会場：黒部市吉田科学館

〒938 黒部市吉田547-1(電話:0765-57-0610)

J R 生地(いくじ)駅下車

☆展示期間：昭和64年1月20日(金)から1月22日(日)まで

時間：午前9時から午後4時30分まで

後援：黒部市、黒部市教育委員会

連絡先：吉田科学館 飯田肇

3. 富山会場：富山市科学文化センター

〒939 富山市西中野3丁目1番19号(電話:0764-91-2123)

J R 富山駅下車

☆展示期間：昭和64年1月25日(水)から1月29日(日)まで

時間：午前9時から午後4時30分まで

後援：富山市教育委員会

連絡先：富山市科学文化センター 石坂雅昭

または、〒930 富山市五福3190 富山大学理学部 対馬勝年
(電話:0764-41-1271)

「立山蔵の助の雪溪調査」

講 師： 飯田 肇 黒部市吉田科学館

日 時： 1989年 1月21日（土） 15:00 ～ 17:00

場 所： 黒部市吉田科学館（北陸線生地駅より徒歩 5分）

問い合わせ先： 黒部市吉田科学館 飯田肇 0765-57-0610

（同会場では日本雪氷学会写真展が開催されています）

第1回石川地区学習会の報告

11月19日金沢市内の会館加賀において、第1回の石川地区学習会が行われた。地域振興研究所遠藤聡主任研究員から「雪に強い街づくり」について富山県井波町の例を挙げて説明された。北陸地方の街づくりについて、無雪地と全く変わらないやりかたに疑問を持ったこと、雪を考慮に入れた街づくりが必要であることが強調された。石川・富山から会員、非会員併せて8名の参加者があり、終了後の懇親会では参加者の自己紹介を交えて和やかな意見交換が行われた。

（対馬理事 記）

第2回新潟地区学習会報告

去る11月25日、長岡技術科学大学機械建設棟において、第2回新潟地区学習会が開催されました。講師の新潟大学工学部大熊 孝教授は、流雪溝・消融雪溝について、多くのスライドと資料を用いて詳しく説明されました。講義内容は、技術論から、事例紹介、実験、観測、計算例と豊富で、初積雪にもかかわらず参集した49名の参加者は熱心に耳を傾けていました。なお、この学習会は長岡技術科学大学梅村教授の講義と並行して行われ、同教授には準備に際し、お骨折り戴きました。また、新潟地区学習会担当の遠藤(治)理事よりアンケートが配られ、以下の回答（一部抜粋）を戴きました。

○興味のある雪水分野：雪の物理(9)、水資源融雪(7)、雪の利用(3)、雪の化学(2)、吹雪・雪崩(2)、生活・スポーツ(2)、水・雪溪(1)、構造物(1)、除雪機械(1)

○次の企画の希望：雪自体の性質、屋根雪処理方法、表層雪崩、消融雪と除雪機械の組合せ

（小池幹事 記）

積雪の断面観測と雪の含水率の測定

定員：20名（先着順）

日時：1989年2月25日（土） 13:30～16:30

場所：新潟県立長岡工業高校 物理教室

（長岡市幸町2-7-70、長岡市役所隣り）

講師：本学会の会員で雪の観測の専門家、数人で構成

実習項目：積雪の層構造と雪質の観察、雪温、密度、積雪相当水量の測定、
雪の含水率の測定

申し込み方法：ハガキまたは封書に氏名、所属、会員、非会員、学生の別、
連絡先住所および電話番号を記載し、1月28日（土）までに下記
にご連絡下さい。

申し込み先：☎940長岡市幸町2-7-70、長岡工業高校 田村盛彰
TEL 0258(35)1976

受講経費：テキスト、実験材料費等の実費として次のとおり。

会員＝2000円、非会員＝3000円、学生＝1000円

（講習当日に持参下さい）

当日に持参するもの：筆記用具（鉛筆）、ノート、定規、電卓、長靴、防
寒具

※昨年度の講習会の反省を生かし、受講者自らが実際に計測し、まとめる
ような講習会をめざします。

（田村幹事 記）

北信越支部編集委員会（早川委員長）では、昭和64年1月31日に『雪氷北
信越2号』の発行を予定しております。つきましては、下記の通り、随筆・
評論的な自由投稿文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。

記

1. 締切：昭和63年12月24日（土）消印有効
2. 字数：3000字程度（用紙は自由）
3. 送付先・問い合わせ先：〒940-21 長岡市上宮岡町1603-1
長岡技術科学大学建設系 小池俊雄（0258-46-6000、内線6124）